



## 新任医師の中西英博です



中西 英博医師

皆さん、こんにちは。10月1日より、医療法人社団 操仁会 岡山第一病院に常勤医師として勤務しております中西英博です。私は生まれも育ちも岡山市で、いつかは生まれ育った地域の方々に自分の出来ることでご恩返しが出来ればと考えていました。しかし、こんなに早く実現するとは思っていませんでした。このめぐり合わせを大切にしていきたいと思います。

さて、私が岡山第一病院で行っていききたい事として診療面では、病気を正確に診断し治療を行うことはもちろん、病気を診るだけではなく、体と心との結びつきを考える全人的治療、つまり「総合医療」にこだわりながら、近隣の皆様方の「かかりつけ医」として、お役に立てられるよう全力を尽くしたいと考えています。

また、診療と同時に「いかにして病気にならないか。」「いかにして健康でい続けるか。」を追求していきたいと考えています。その事を考えれば考えるほど医療者はあくまでも皆さんが健康を作り出そうとする時のコーチ役（脇役）にすぎない。主役は皆さん一人一人である。という思いになります。皆さんに考えていただきたい事は、健康をつくるのは医師でも薬でもありません。病気を予防するのも健康でい続けるのもみなさんの意志で可能であるということです。タバコを吸っている皆さん、そしてタバコを止めたいと思っている皆さん、木曜日の午後に禁煙外来（予約制）を行っています。皆さんの、また皆さんの周りにおられる大切な人達の健康を思い、ぜひ相談にいらしてください。そして世間で騒がれている生活習慣病やメタボリックシンドロームを気にされている皆さん、ぜひ相談にいらしてください。いっしょに問題点を探し解決していきましょう。また検診を受けられていない皆さん、一年に一回は受けてください。病気の早期発見、早期治療は健康でい続けるためには不可欠です。私が申し上げたかった事は以上です。皆さんの健康にすこしでもお役に立てるよう頑張ります。どうかよろしくお願い致します。

■中西先生の外来診察時間 ・月曜日 午後 15:00～17:30

のお知らせ ・木曜日 午後 15:00～17:30(禁煙外来も同時に行っています。)

### ●医療法人社団操仁会 理念●

患者様の声に耳を傾け、こころ通じ合う医療

— 皆様の笑顔のために —

### ●基本方針●

- 地域の皆様の視点に立った安全で質の高い効率的なサービスの提供
- 医療・看護・福祉および健康増進のトータルヘルスケアサービスの提供

編集後記-10月28日(日)、40周年記念式典の日を迎えました。大勢の来賓の方をお迎えする、このような行事は経験がなく心配していましたが皆で力を合わせ、とどこおらず式典を終えることができました。これからも地域の方々に良質な医療を提供できるように職員一同頑張りたいと思います。(S)

医療法人社団操仁会  
岡山第一病院  
(日本医療機能評価機構認定施設)  
岡山市高屋343  
電話:086-272-4088



# のさいわい

岡山第一病院広報誌

第13号

平成19年11月15日発行

◇ホームページアドレス

http://www.okayama-daiichi.jp

## 特集：岡山第一病院創立40周年記念式典・祝賀会

### 岡山第一病院創立40周年記念式典ごあいさつ



理事長 諸國 眞太郎

本日は、ご多忙にも係らず、医療法人社団操仁会岡山第一病院開設40周年の会にお運びくださいましてありがとうございます。平成19年4月に亀山英之前理事長から操仁会の運営を引き継ぎました諸國です。

平成8年から副院長として亀山前理事長に仕え、先生からは常に「和」を重んじることの大切さを教えて頂きました。平成12年から院長として病院を管理する立場になりました。時は病院にとって冬の時代に突入していました。難局を乗り越えるためには、病院改革が必要で、個人病院から完全に脱却することが求められました。これを実現するために病院機能評価受審を目標に掲げ職員が一致団結して「患者様の声に耳を傾けこころ通じ合う医療—皆様の笑顔の為に—」を旗印として大改革を行いました。お陰をもちまして平成18年7月24日に病院機能評価の認定を受けることが出来ました。これで現在の医療に求められている「安全・安心」への第一歩を踏み出したこととなります。この際、院内外の多くの方の力が必要でしたが、職員が一丸となってくれたことが何事にも変えられない成果であったと思っています。中でも根本看護部長、原田事務部長の貢献は非常に大きく、この二人がいなければ認定を受けることも出来なかったと心から感謝しています。

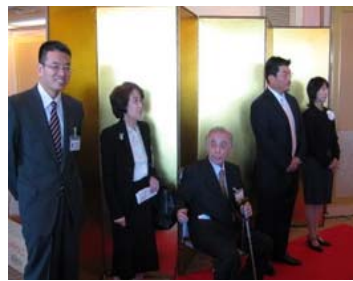
ここで、当院の理念について一言説明します。現代の医療はEBMすなわち根拠に基づいて行われています。しかし、その結果は一人ひとりによって異なり、場合によっては全く効果が得られないこともあるのです。このような医療の現場で大切に必要なのは、患者とスタッフがお互いに開かれた関係の中で患者の生活歴などを取り入れた診察・検査・治療を行うことです。笑顔は決して患者だけでなく患者の家族や我々スタッフにも力を与えてくれるものであると考えています。医療はサービス業として位置づけられていますが、デパートのように「また、お越してください」と言うことははばかられます。しかし、「いざ」という時に「頼り」になることを目指しています。

さて、今後一層厳しくなる医療経営状況ですが、これからの正念場です。少子高齢化が避けられない状況で、社会の中で医療が果たす役割は今後ますます大きくなってきます。より効率的なサービスの提供が必要となります。当院は以下のことを目指して進みたいとも思います。

第一に今後も地域に根付いた医療・看護・福祉さらに「血管」に軸を置いた健康増進の担い手として貢献したいと考えます。大病院と地域を繋ぐ役割です。第二に既に県下はもとより近県からの利用がある下肢静脈瘤日帰りセンターを発展させ、江田泉診療部長を核とした「日帰り手術・短期滞在手術」を充実させて地域医療という太い幹に枝葉さらに花咲かせ地域を越えたブランドを作りたいと考えます。第三に社会貢献として治験事業、中国人に対する通訳サービスなどを引き続き行いたいと思います。医療経営で正解を見つけることは非常に難しいのですが、絶えず「患者さまの声に耳を傾けながら」前を向いていく覚悟です。

以上を持ちまして簡単ではございますが、皆様方へのお礼と今後への決意を述べさせていただきました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 特集：岡山第一病院創立 40 周年記念式典・祝賀会



医療法人社団 操仁会 岡山第一病院の創立 40 周年を記念して 10 月 28 日(日)岡山プラザホテルで記念式典が行われ、約 140 人の来場者から病院の新たな門出を祝福していただきました。諸國眞太郎理事長の挨拶の後、亀山英之院長の挨拶がおこなわれました。松山正春岡山市医師会副会長、清水信義岡山大学副学長、土井章弘岡山県病院協会会長、長汐良熊幡多学区連合町内会長、中西綾子岡山県看護協会会長からご祝辞をいただきました。

引き続き逢沢一郎衆議院議員などからいただいた祝電が披露されました。式典は、永年勤続表彰へと移り 3 名の職員が表彰され表彰状と記念品が贈られました。



石井正弘 岡山県知事



### ◇永年勤続表彰者

- 浜中正明 (放射線技師長 昭和 58 年 4 月入社)
- 清水和江 (管理栄養士 昭和 58 年 4 月入社)
- 仁科善博 (マッサージ師 昭和 56 年 4 月入社)

(左:諸國理事長 中央:浜中 右:清水 仁科は所用により欠席)



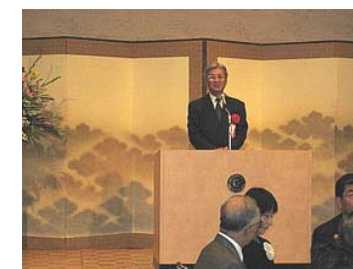
清水信義 岡山大学副学長

平成 8 年に当院の新館の設計をしていただいた谷 義仁岡山県建築士会名誉会長による乾杯のご挨拶をいただき祝宴となりました。



谷義仁岡山県建築士会名誉会長

石井正弘岡山県知事、小倉弘行岡山県議会議員、小林健伸岡山県議会議員、三木亮治岡山市議会議員岡山県看護協会若林敏子顧問、また当院の監事をしていただいている松田紘一郎公認会計士からお祝いのことばをいただきました。



長汐良熊 幡多学区連合町内会長

式典のサプライズ企画として亀山英之院長、亀山昭江副院長に、長女である諸國啓子さんと二女の亀山典子医師よりお礼の言葉と花束の贈呈が行われました。



花束を贈られる亀山英之院長と亀山昭江副院長

お二人には秘密で計画していたため大変驚かれた様子でした。そしてさらにお二人を驚かせる企画が発表されました。

「これから啓子さん、典子さんと一緒に記念撮影をします。撮影した記念写真を収める額縁を全職員からのプレゼントとしてお渡しします。」というアナウンスが流れると、このサプライズ企画も職員全員で秘密にしていたため、お二人は驚かれたあと、お顔を見合わせてうれしそうな表情を浮かべられました。

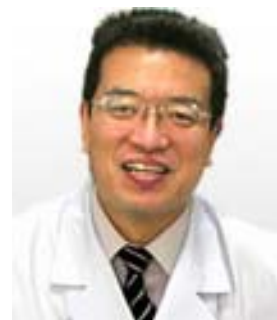


この写真が職員からのプレゼントの額縁に収められ、後日お二人に手渡されました

最後に江田診療部長より、閉会の挨拶が述べられ記念式典は盛況のうちに終了しました。

## いぼ痔が注射で治せるの？

診療部長 外科 江田 泉

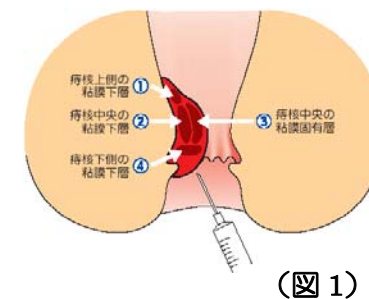


痔核(いぼ痔)とは肛門の血行が悪くなり、毛細血管の一部がうっ血してこぶ状になったものです。形がいぼに似ていることからいぼ痔と呼ばれます。出血したり肛門の外へ出たりするようになります。直腸と肛門の境界(歯状線)より内側にできた痔核を「内痔核」、外側にできた痔を「外痔核」といいます。単に痔という場合には「いぼ痔」のことを指します。

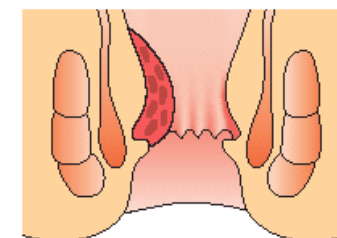
いぼ痔を注射で治す方法は硬化療法といいます。「脱出を伴う内痔核」にジオン注という薬を注射して痔に流れ込む血液の量を減らし、痔を硬くして粘膜に癒着・固定させる治療法です。痔核を切り取る手術と違って、痔核の痛みを感じない部分に注射するので「傷口から出血する」「傷口が痛む」というようなことはなく、入院期間の短縮も期待できます。

ジオン注を投与する前に肛門周囲へ局所麻酔を行ない、肛門周囲の筋肉を緩め注射しやすくします。ジオン注はひとつの痔核に対して 4 か所に分割して投与します。(図 1) これは痔核に薬液を十分に浸透させるための方法で、四段階注射法といいます。複数の痔核がある場合には、それぞれに投与します。投与後しばらく点滴を続け、麻酔の影響がなくなるまで安静にする必要があります。投与後の早い時期に痔核へ流れ込む血液の量が減り出血が止まります。脱出の程度も軽くなります。(図 2)

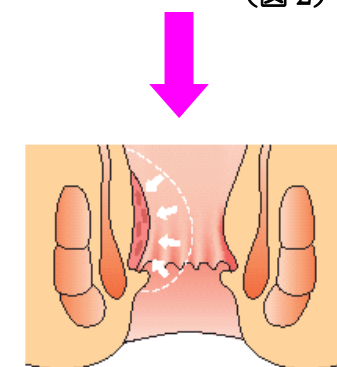
1 週間から 1 か月もすると、投与した部分が次第に小さくなり、引き伸ばされていた支持組織が元の位置に癒着・固定して、脱出がみられなくなります。(図 3)



(図 1)



(図 2)



(図 3)

当院でもジオン注による、いぼ痔の治療が可能です。

治療についてお気軽にお問い合わせ下さい。

E-mail : hemo@okayama-daiichi.jp

Tel : 086-272-4088